

繁忙期（3・4月）における円滑な引越のためのポイント

1. 「混雑時期を避けた引越」にご協力ください。

例年の最繁忙期である3月中旬～4月上旬については、ドライバーおよび車両の両方の観点から対応が難しくなってきております。

トラブルなくスムーズに引越を行うために、利用者の方々におかれましても、ピーク時期の引越を避けるなどのご協力をお願いいたします。

なお、引越時期の分散にご協力いただいた利用者の方々からは以下のように、

- ・ 3月末の土日の引越と比べて、引越代金が安くなった
 - ・ 会社の従業員の引越に係るコストを抑えることができた
 - ・ 3月の最終週から引越時期をずらすことで、予約が取りやすくなった
- など、引越時期の分散によるメリット等のご意見がございました。

2. 引越業者が見つかりにくい場合は？

(1) お近くの運送業者への問合せ

一括見積りサイトに登録していない事業者や、引越専門ではないものの引越しに対応できる事業者もあります。お近くの運送事業者に問合せされると、引越業者が見つかる可能性があります。

【探し方の例】

①（公社）全日本トラック協会のホームページ

大手引越業者を含む引越事業者優良認定制度（引越安心マーク）の認定事業者353事業者（1,720事業所）が都道府県別に公表されています。（※R6/1/1時点）

https://jta.or.jp/member/hikkoshi_member/hikkoshi_anshin/list.html

② 電話帳（タウンページ）

インターネット版（iタウンページ）のジャンル「住まい」－「引越し運送」や、キーワード検索「引越」、「トラック」などで検索できます。

(2) 軽トラック運送事業者の利用

単身引越しなど、荷物の量が少ない場合には、貨物軽自動車運送事業者（軽トラッ

ク事業者)でも対応できる場合があります。お近くの事業者にお問合せ下さい。

【探し方の例】

① 電話帳 (タウンページ)

② インターネット検索

例:「引越」と「軽トラック」/「軽貨物」/「軽」等のキーワードで検索。

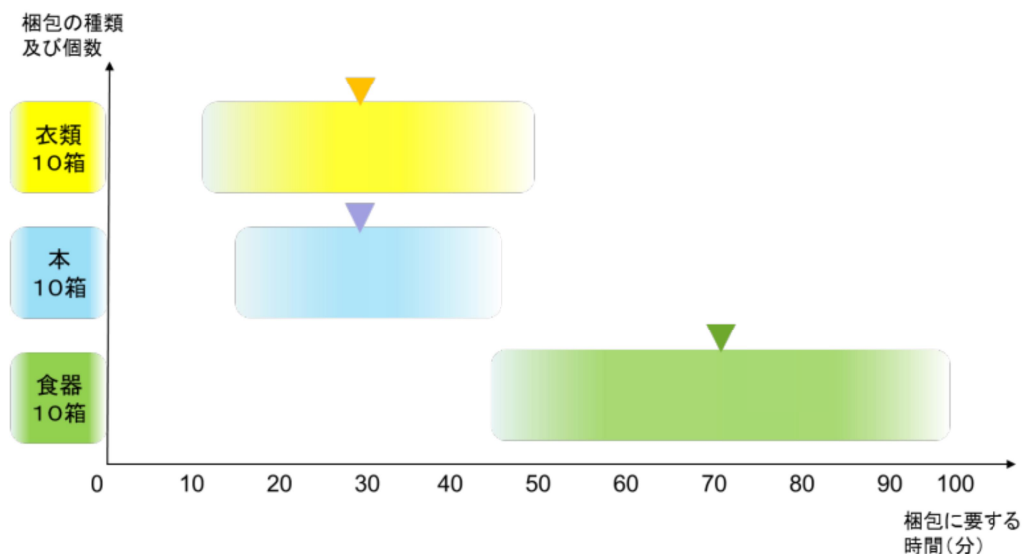
3. 引越しの日時が決まったら

(1) 荷造りは前日までに

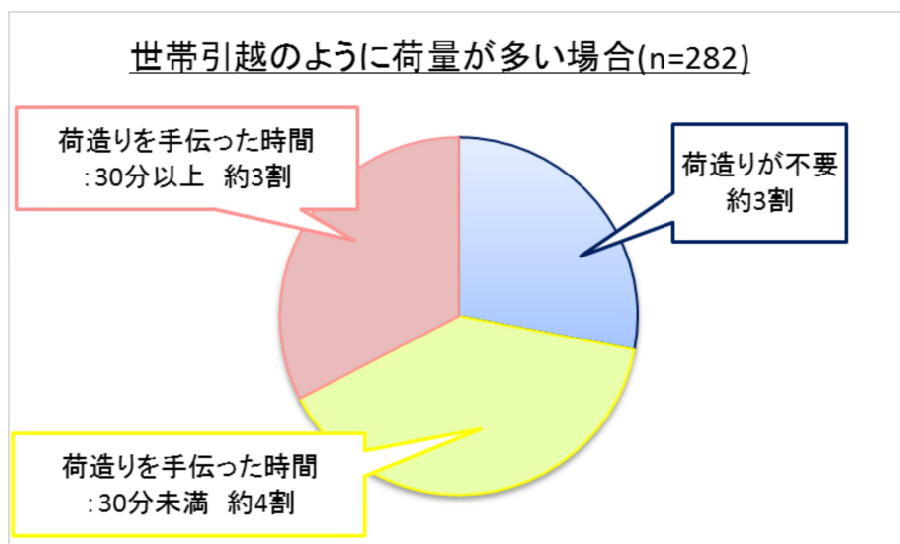
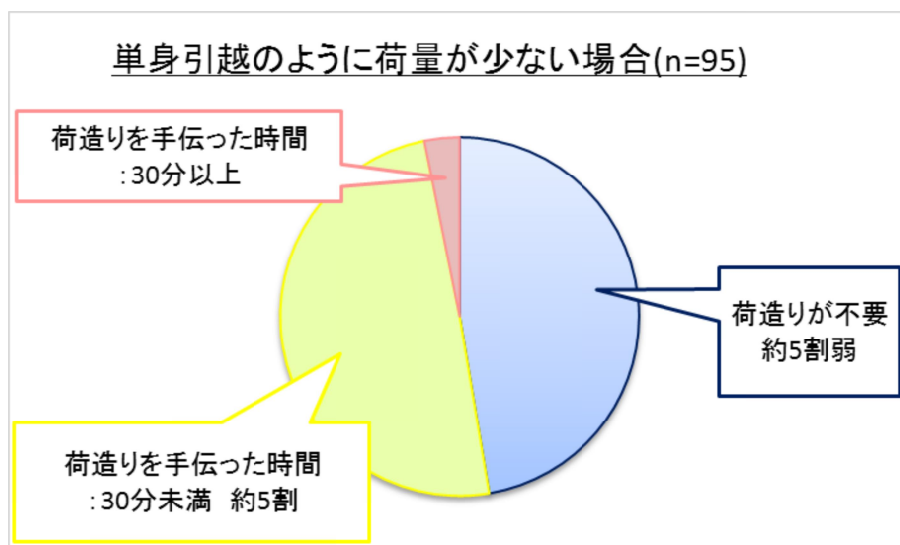
- 引越当日トラックが到着するまでに荷造りが完了しているように、余裕を持って準備をお願いします。段ボール等が足りなくなった場合には、早めに事業者へ連絡して、荷造りが完了するようご協力をお願いします。
- 作業効率の観点からも、破損や荷崩れ事故等を防ぐためにも、小型家電(例:炊飯器、トースター)なども含め、段ボールに入るサイズのものは、忘れずに箱詰めをして頂くと円滑に進みます。
- 荷造りが終わっていないと、予定時間に引越が終了しない要因となります。繁忙期には、同じスタッフが1日複数件の引越作業を担当していることも多く、作業が遅れると次のお客様にもご迷惑がかかることとなります。

[参考]

- 梱包作業が未完了の場合に、現場での梱包に必要な時間について
(大手引越業者等への聞き取りによる)



- 引越当日作業員が荷造りを手伝った割合 ※一部事業者の協力によるサンプルデータ



※荷造りを手伝った時間 : 1 時間以上 約 1 割

(2) 不要品は事前に処分

- 引越先で使用しない家具等の不要品は、前日までに処分して頂くと円滑です。不要品を事前に処分しておくことにより、室内の作業スペースが増え、作業時間の短縮や費用の節約につながります。
- 不要品（粗大ゴミ等）の処分方法については、お住まいの市区町村にお問合せ下さい。※ご不要となるテレビ、エアコン、冷蔵庫（冷凍庫）、洗濯機については、家電リサイクル法に基づき、新たに購入を予定する小売店に引取りを依頼するなど適切なご対応をお願いします。

※ 公益社団法人 全日本トラック協会が作成しているパンフレット（「かしこい引越」～上手な引越のために知っておきたいこと～）もご参照下さい。